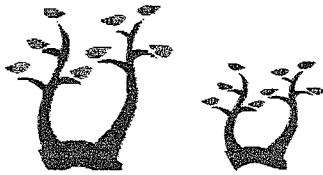


「鵠沼の緑と景観を守る会」機関紙

鵠沼の緑

2月例会・懇談会報告



発行 藤沢市鵠沼地区「鵠沼の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)

2月例会および懇談会報告

2月例会は2月19日(日)15時から鵠沼公民館第三談話室で行われました。出席者12名。司会古山幹事、書記佐藤幹事。恒例の「高木ふれあい荘」の清掃はお休みしました。

2月例会報告

< 北村代表より報告 >

1 音楽になった植物たち(冬編)

1月19日(木)長久保公園で恒例の「音楽になった植物たち・冬編」の催しがありました。冬の花にちなんだ音楽を聴きながら、廣田相談員の解説があり楽しいひとときでした。

2 三団体活動報告会

ニコニコ自治会・鵠沼景観まちづくり会・鵠沼の緑と景観を守る会の三者による最近の活動状況報告会が1月29日に行われました。各団体の報告要旨は次の通りです。

ニコニコ自治会

住民協定が成立してから7年(平成5年成立)経つが、これをさらに一歩進めて法的拘束力のある景観形成地区にしよう準備している。

鵠沼景観まちづくり会

ニコニコ自治会、五友会に続いて、藤が谷会や鵠南みどりの会も住民協定を進めているので支援していきたい。

鵠沼の緑と景観を守る会

津波による浸水対策について、海岸林を視野に入れている。3月に出される県の防災マップを基に対応していきたい。

3 藤沢宿シンポジウム

1月29日(日)に旧東海道藤沢宿まちそだて隊・藤沢市などの主催で済美館で開催されました。

[内容] 第一部 藤沢宿周辺の地域資源・回遊を高める戦略の提案

第二部 「藤沢宿の地域資源を活かした回遊づくり」と題してのセッション

藤沢マップが作成されて、現存している蔵や現在も営業している商店などが描かれ、イラスト入りのわかりやすい楽しいマップになっております。当会から3名参加しました。

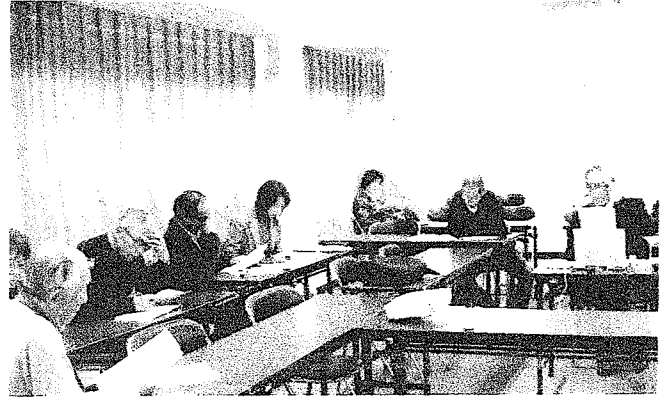
4 その他

* 「耕余塾をふりかえる」展

主催：明治郷土史料室

場所：明治市民センター

期間：1月14日～3月25日



* 講演会 「神奈川の防災を考える」

先月の会報でもお知らせしましたが、引き続きご案内いたします。チラシを

ご覧の上、ぜひご出席下さい。「神奈川県の海岸林の歴史・現状・将来」について宮脇昭氏が話されます。その後に質疑・討論があります。わたくし達一人一人の問題として考えてみましょう

* 新聞報道によると都市部で藤沢市の人口増加が全国で6位になったそうです。

1位から5位までが県庁所在地。この人口増をどう解釈するかで意見がありました。

そのいくつかを紹介します。

- ① 多分、藤沢市の規制緩和のせいだと思うが、人口は増えればいいというものではない。
- ② 人口増加により、下水道などのインフラ。小中学校の増設、市民サービスなどの多くの税金が投入されることになる。
- ③ 逗子市は4万人規模の人口をめざしてまちづくりをやっており、こうした規制により人口増の歯止めがかかっている。
- ④ 鶴沼に住みたい、という人が多くなっているのではないか。

* 例会終了後、出席されていた有賀市議と三野前市議の話がありました。

有賀市議：河野さんも三野さんも市議を退かれましたが、その分私が緑と文化を守るために尽力していきます。

三野前市議：これからのことを考えて、いろいろな方のご意見を聞いて、まちづくり、文化づくりをライフワークとしていきたい。

みどりの相談コーナー

Q スイートピーの種を11月ごろ蒔き券が出ました。ビニールポットで育てていますが植え付けはどうすればよいでしょうか？

A 3月中旬ごろに植え付けましょう。酸性土壌を嫌うので、植え付け前に苦土石灰をまいておきます。堆肥や腐葉土を土とよく混ぜておきましょう。高さ1.5m位になるので支柱を立ててください。

Q サギ草育てたいが毎年枯れてしまいます。どう育てたらよいでしょうか？

A サギ草は日当たりのよい湿原に生育し、夏に白い花を咲かせます。地下にほふく莖があり、その先端に大豆大の球茎がつきそこから芽を出します。水持ち良く水ゴケ5：鹿沼土5の混合土に植え付けるとよいでしょう。日当たりと風通しの良いところに置き、冬は鉢ごと発泡スチロールの箱に入れ温度差の少ないところに置きます。

(廣田相談員)

懇談会

例会後、高橋志保彦先生（当会顧問・建築家・都市デザイナー）を囲んで「想定される地震・津波に我々はどう対処すべきか」について懇談しました。

① 先ず、プロジェクターによる東北地方の津波の映像を見ながら、先生の話をお聞きしました。河北新報提供による宮古市・釜石市・名取市の災害状況。津波が大きく盛り上がり、船や車が呑み込まれ、名取市では海岸の松林がすっかりなぎ倒されている。松は植えただけではダメでしっかり根付かせ、太く根をはわせることが肝要とのこと。

② 津波と建物の関係について

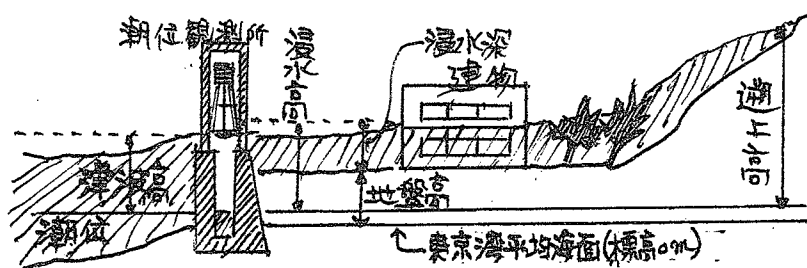
知っておきたい津波に関する四つの要語。

津波高・・・その時の潮位からの波の高さ

浸水高・・・その時の潮位からの浸水の高さ

浸水深・・・地盤面からの浸水の深さ

遡上高・・・その時の潮位から津波がどの高さまで駆け昇ったか



そこで津波避難ビルの建物規模についてみると次のようになります。

○先ず構造的耐えうるだけでなく、生存のための空間の確保が必要です。

○津波が建物にぶつくと波面が上昇します。その水位上昇は4mと想定。

○従って、津波避難ビルの階は津波の想定浸水深より4mの高さが必要。

○例えば浸水高10・5m、地盤高5mとすると浸水深は5・5mとなります。それより4m高い階が必要になると地盤面より9・5m、大体ビル3階の天井の高さです。

○よって4階以上が避難階となるということになります。（但し、窓がたくさんあったり1階が開放的なビルは異なります。）

③ 先生は津波に関していくつかの提案と注意点を示されました。

(イ) 津波の威力を知ること

過去の津波のシュミレーションを知っておくこと。江戸時代初期の慶長地震時の津波高は10・5m。津波が押し寄せた時間は地震後70分経ってからなど。津波は地震後、数分から数十分、数時間後まで繰り返し来襲すること。

(ロ) 緊急放送スピーカーポール位置の見直し。エコーがすごく聞きづらい場所がある。

避難ルート of 考察・・・先ず高台、高いビルに。車に頼らず走って逃げる。戻らない。

(ハ) 非常食、避難具、簡易トイレ、携帯トイレ。

非常食は2階に置いておく。特にトイレの確保。

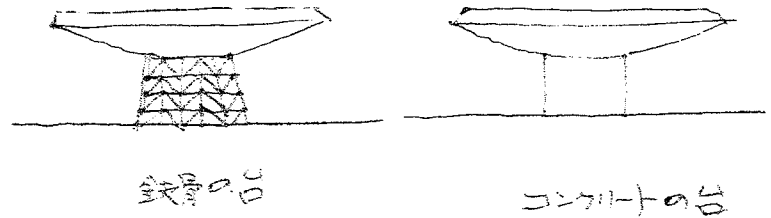
(二) 津波避難タワーと避難ビル

避難タワーはサーファーと観光客用で、周辺住民は海に向かって逃げない。

つくるならデザインを考えて観光スポットになるもの、日常利用できるような施設が望ましい(立体施設公園)。デザインは鉄骨を組み合わせただけのものではなく(新聞報道)、次のようなデザインを提案したい。

避難ビルについては津波の大きさによって逃げ込むかどうかを判断する。

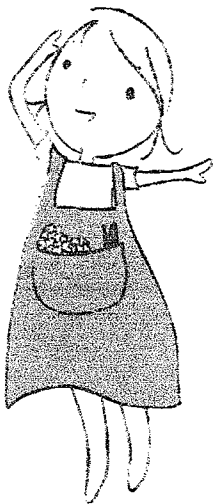
またビルの形体(開口部、ピロティの有無)を知っておく。



(木) 鵜沼海岸に丘を造ろう!

鵜沼海岸に小高い丘を造り、樹を植え、緑地公園とする。被爆100年広島市中央公園アイデアコンペで市内に森と丘をつくる提案をし、高い評価を得たそうです。各地に災害に備える設備と景観を両立させる運動が広がっています。

最後に先生は宮城県山元町海岸の惨状を写し出しながら、お兄上がここの養護施設で亡くなられたことを話されました。松林の中であって風光明媚なところだったそうです。散乱する施設の中に車椅子が見えたとき、一瞬シーンとなりました。津波が押し寄せるまで1時間あったのにスピーカーの電源が切れていたそうです。



会費納入のお願い!

会費は4月から翌年3月までの1年間1000円です。

3月は年度末になりますので未納の方は北村宅に送金または担当幹事宛にお渡しくださるようお願いいたします。

振込みはゆうちょ銀行口座10250 57550941

(郵便局ATMで振り込めば手数料無料)

♡3月日程のお知らせ♡

- 編集会議 3月7日(水) 14:00~
- 広報印刷 3月9日(金) 15:00~
- 例会 3月18日(日) 15:00~

懇談会「新年度にむけて」運動方針など。

多くの会員のご意見が伺いたく、

ご出席をお願いいたします。

- 高木ふれあい荘清掃 3月18日(日) 9:30~
- 〇邸清掃 3月21日(水) 10:00~
- 幹事会 3月24日(土) 10:00~

☆編集係より☆
高橋先生のお話で東日本の災害の悲惨さをあらためて知ることができました。鵜沼海岸に緑の丘をつくろうという提案。県や市よびかけてぜひ実現させたいものです。ニコニコ自治会や五友会の住民協定の輪は他の自治会にも広まりつつあります。当会として、大いにバックアップしていきたいと思っております。

(佐)